



第7回通常社員総会議事録	1
新理事ご挨拶	2
懇親会レポート (佐藤舞希子)	3
コンサート見聞録 (石橋和巳、小松達也)	4
震災復興プロジェクト (加藤高志)	5
クロスワード (横山 淳)	6
よもやまエッセイ (戸田信子)	7
編集長のひとりごと (寺嶋民哉)	8

第7回通常社員総会議事録

平成29年6月20日午後2時、一般社団法人日本音楽著作権協会9階理事会議室において第7回通常社員総会を開催した。

議決権のある当法人社員総数	248名
総社員の議決権の数	248個
出席社員数 (委任状によるものを含む)	135名
この議決権の総数	135個

出席理事 池 毅 川井憲次 北爪道夫 小六禮次郎
三枝成章 佐藤文英 篠崎正嗣 寺嶋民哉
徳永洋明 外山和彦 直居隆雄 萩田光雄
服部克久 山移高寛

出席監事 馬飼野俊一

以上のとおり社員の出席があったので、理事外山和彦は選ばれて議長となり議長席につき、本日の出席社員数及びその議決権の数が上記のとおりである旨を事務局長萩田恭代より報告をうけ、本総会は適法に成立したので開会する旨を宣し、直ちに議事に入った。

第1号議案 2016年度活動報告及び承認に関する件

議長の指名により業務執行理事直居隆雄が当期における下記の活動報告をした。

1. 公益活動

議長の指名により副会長小六禮次郎が当期における下記の活動報告をし、会長服部克久が補足した。

2. 著作権関連

議長の指名により業務執行理事直居隆雄が当期における下記の活動報告をし、副会長小六禮次郎が補足した。

3. 著作隣接権関連

4. 権利擁護活動

議長の指名により常任理事寺嶋民哉が当期における下記の活動報告をした。

5. 広報活動

以上により議長はその承認を求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

第2号議案 第7期 (平成28年4月1日至平成29年3月31日) 事業報告及び決算の承認に関する件

議長の指名により、当会顧問会計事務所(株)日本ビジネス総合研究所森勇二が当期における事業状況を事業報告及び附属書類により詳細に説明報告し、下記の書類を提出した。又、監事馬飼野俊一から監査結果の報告があり、その承認を求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

1. 貸借対照表
2. 損益計算書 (正味財産増減計算書)
3. 貸借対照表及び損益計算書 (正味財産増減計算書) の附属書類

第3号議案 理事全員任期満了に伴う改選の件

議長は、定款の規定に基づき、理事全員が任期満了退任となるため、改選の必要がある旨をのべその選任につき総会に諮ったところ、池毅、岩城直也、小栗豊 (朝川朋之)、川井憲次、北爪道夫、小林洋平、小六禮次郎、三枝成章 (三枝成彰)、佐藤文英 (ボブ佐久間)、猿谷紀郎、篠崎 央 (篠崎 央多)、篠崎正嗣、すぎやまこういち、関美奈子、千住明、寺嶋民哉、徳永洋明、外山和彦、直居隆雄、萩田光雄、服部克久、林ゆうき、山移高寛、山下康介、渡邊俊幸 (渡辺俊幸) は満場一致により選任した。なお、被選任者はいずれも即時就任を承諾した。

第4号議案 2017年度活動計画の承認に関する件

議長の指名により、業務執行理事直居隆雄が2017年度活動計画を報告した。議長はその承認を求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

第5号議案 2017年度予算案の承認

議長の指名により、当会顧問会計事務所(株)日本ビジネス総合研究所森勇二が予算案を説明し、その承認を求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

以上で本日の議事を終了し、議長は午後5時30分閉会を宣した。

新理事ご挨拶



岩城直也

幾月か前のとある日、舞台を観劇に行ったときのこと、開演直前に一通のメールが届きました。そこには「JCAAの理事に選任されました」との文字。電源をOFFにし、舞台上に目を移してから、事の重大さに気がついたのは言うまでもなく――

聞くところによりますと私、最年少会員ということで、その上入会して間もない若輩者がこのような大役をお引き受けしても良いのかというところでございますが…

私なりに精一杯務めさせていただく

ことで、錚々たる先輩方、そしてこれからの音楽界の発展に少しでも尽力することができるならと、力不足ながら理事という役職を務めさせていただくことに致しました。

浅学菲才でございます故、多くのことを今から猛勉強せねばなりません。素晴らしい機会を頂戴し、力の限りを尽くす決意しておりますので、ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願いたします。

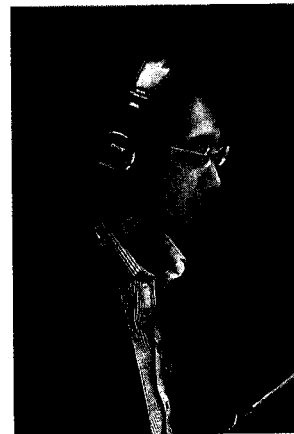
どうか、dolce (お手柔らか) に…



小林洋平

この度、新理事就任のご承認を頂きました小林洋平と申します。総会や行事にもなかなか顔を出せずにいた不真面目会員の小生が、錚々たる大先生方がお名前を連ねていらっしゃる理事会のメンバーに選んで頂くなど全く想像しておりませんでしたので、最初にお話を頂戴した時はまさか自分が!?という気持ちばかりでしたが…就任させて頂いたからには少しでもお力になれるよう全力で取

り組ませて頂きます。まだまだ経験値の浅い若輩者ではございますが、皆様今後とも何卒よろしくお願申し上げます。作家を取り巻く環境が日々刻々と変化していく中で、JCAAという我が国でも屈指の存在が、未来に向けて担っていくことの出来る役割は何なのかを真摯に考え、そして責任を持って行動していきたいと思っております。



篠崎央多

このたびJCAAの理事へ選任していただきました篠崎央多と申します。名前にある怪しげな「多」は画数合わせですので深く考えないでください。

なんやかんやで音楽業界でお仕事をさせていただいている僕に何ができるかわかりませんが、生まれたときから耳にしている音楽を作った先生がたのもと、音楽以外のこともたく

さん勉強させていただければと思います。

「このままいったら10年経ったらこの会なくなるね」という話を耳にしてから10年以上経ちました。

まだ今日明日に無くなる感じではないので「日本の大衆音楽の発展を考える作編曲家の会」として活動できることはできるうちに発案させていただこうと思います。



林ゆうき

このたび新しく理事にご推薦頂きました林ゆうきと申します。

私は特に音楽経験もなく、男子新体操の選手をして踊っていた高校生の頃に、自分が踊るための伴奏曲を選ぶことから音楽に接し、興味が出だして独学で作曲を始め、そこからなぜか劇伴の世界にたどり着きました人間ですので、どこに出しても恥ずかしくない、生粋の雑草育ちであります。

音楽的な知識はもちろん、社会人としても半端者なので、こんな人間に理事が務まるのかはなはだ疑問ではありますが、先輩方から勉強させて頂き、何かのお役に立てればと思っております、どうぞよろしくお願致します。

懇親会レポート



今年度からJCAAへ入会させて頂いた私にとって、総会・懇親会共に初参加となり、貴重な経験とかけがえのない時間を過ごさせて頂きました。

初総会での緊張感は身の引き締まる思いで学ばせて頂き、懇親会では色々な先生方からお話をお伺いさせて頂く有り難い機会にありました。

-昔、好きだったピオラ奏者を想って書いたコンチェルト、そんな曲もあったかなあ…。-

振り返るロマンスを日本酒と合わせ、気さくにお話下さった服部先生。きらきらとした当時のお話から、様々な精通する音楽のお話、また私にとって励みや糧となるお言葉まで頂き、服部先生のお言葉は一つ一つ、取るに優しく厚みがあり、沁み入るのです。

また竹村先生とお話をさせて頂いた際には、長年音楽業界にいらっしやる中で、最大、究極のピンチ！と感じられたことについて、図々しくもお伺いをさせて頂きましたら、ピンチのお話も色々な笑顔でお話下さって、そこから竹村先生のエピソードはすべて、幸せな時や有り難いこと、喜びにあったお話など、明るく未来を照らすものばかりだったのがとても印象的でした。-下町育ちの江戸っ子だよ！-と日本酒をくいっと飲まれるお姿は、人情味あふれる竹村先生の粋な生き方そのままに、教わることがとても多く、有り難い気持ちになりました。

日本の音楽界の礎を築いてこられた諸先生方とご一緒させて頂く貴重なひと時は、日本の音楽界における仕組み、変化、新たな試みなどと、

とても勉強になり、自身もっと知るべきこと、やるべきこと、やりたいことは益々たくさんに！お酒好きの私はより一層の旨味に余韻を残しながら、次なる未来を様々な想像させて頂く機会となりました。またご一緒させて頂ける日を楽しみに頑張ります。みなさまありがとうございました！



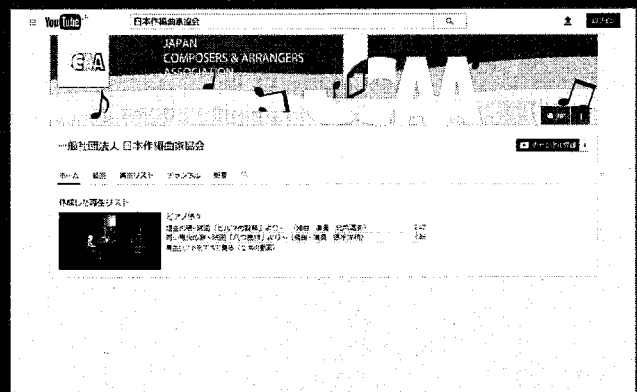
文・佐藤舞希子

JCAAのYoutubeチャンネル開設！

当会のYoutubeチャンネルができました。コーラスプラスをはじめ、当会主催コンサートの動画をこのチャンネルで公開していきます。是非ご覧ください。

チャンネルへは下記URLを入力するかYoutube内で『日本作編曲家協会』と検索してください。

<https://www.youtube.com/channel/UCs-PYGjqYJIZFMtsqXz0LZg/>



コンサート見聞録

JCAA が主催、協力、後援したコンサートからご紹介

『ピアノ悠々コンサート』 2017年3月26日 @メロディライン

【出演】芥川マスミ、石橋和巳、岩崎文紀、上柴はじめ、北爪道夫、倉上大、糀場富美子、小六禮次郎、三枝成彰、周防泰臣、武永京子、塚本一実、徳永洋明、萩田光雄、服部克久、ピアニスター HIROSHI、前田憲男、松本峰明、丸山和範、山下康介



今やJCAAの定番となりつつある「ピアノ悠々コンサート」が2017年3月26日に開催された。今回で4回目を迎える。会場のメロディライン(ザ・プリンスパークタワー東京内)は、客席で食事を取りながらピアノの演奏に耳を傾けるというディナーショー形式を取り、正に大人の雰囲気溢れた絶好の場所である。6年前、アウディ・フォーラム東京で行われた当コンサートの第1回目以降、全ての回で私は出演させて頂いている。当会副会長の三枝成彰氏、小六禮次郎氏のアイディアからスタートした当コンサートの醍醐味は、何と言っても日本を代表する作曲家・

編曲家たちによるアレンジを、編曲した本人の手によるピアノ生演奏で聴くことが出来る事であろう。各会員が好き好きに選曲した映画音楽の数々は、意外にもハリウッドのものが少なく、フランス、イタリア、ブラジル、そして日本といった様々な国の映画から生まれた名曲たちであった。参加される会員の世代も広い故に、好んで選ぶ映画も幅広く多様であるところが余計に面白い。私の選んだ曲はアメリカのジェリー・ゴールドスミスが作曲した映画音楽であったが、原曲がジャズ調であった事が選曲した理由として大きい。本企画のもう一つの課題としては、バイエ

ル程度のレベルで誰でも“簡単”に弾ける編曲を作成するということ。これが予想以上に難しいことは、アレンジを生業としている当会員の皆様なら想像に難くないだろう。更に、ステージに立ってピアノで自演することが前提とあっては、やはりどこか“格好つけたくなる”のが人間の性というものである。簡単に弾けて、しかもゴージャス感を損なわない編曲をいかに捻り出すのか。そこはさすがにプロの集団、それぞれの持ち味、独自のアイディアを駆使しながら、「ピアノ悠々」の名にふさわしいアレンジの数々が各会員の手によって美しく奏でられた。古くは「オズの魔

法使い」から「男と女」、「ピルマの竖琴」や「海の上のピアニスト」まで、一度は誰でも旋律を口ずさんだことのある映画の名曲たちが、編曲という名の新しい装いに身をまといながら、メロディラインの夜を優雅に包み込み、観客達は夢のようなピアノの響きに身を委ねていた。



文・石橋和巳

『JAZZY NIGHT』 2017年7月21日,22日 @メロディライン

【プロデューサー】直居隆雄

【出演】まきみちる (Vo.)、タイムファイブ (Vo.)、直居隆雄 (Gtr.)、斎藤“クジラ”誠 (B.)、市原康 (Drs.)、北島直樹 (Pf.)



メインコピー「大人にはオトナのジャジーナイト」正に上質な音楽を提供する時間と空間。まきみちる、直居隆雄、タイムファイブ、を中心に一流アーティストが創り出すステージは実に良質で、既に今回6回目となるが毎回観客を魅了し続けている。

20数年前、銀座ソニービルで年4回数年に渡り開催していた「西銀座ジャズ倶楽部」が前身で、ほぼ同じメンバーでテーマを決め選曲しアレンジ・リハーサル、とかなり手の掛かる音楽会だったが、やはり上質がポイントだった。長年タイムファイ

ブのマネージメントに携わっている私だが、このような超一流ミュージシャンとセッションをするライブは今や貴重で、久し振りに再開した本企画は実に楽しみであり感動を生む。来年タイムファイブはメンバー5人変動なく、結成50周年を迎える。

更に磨きをかけたハーモニーで参加を続けたい。

文・タイムランド 小松達也

2/25 「L'alto Concert」 @メロディライン

Kaleidoscope177(加藤 JOE Vln/高市紀子 Fl/萩田光雄 Gtr/Arr)による往年の名曲を堪能させたライブ。ゲストに馬頭琴イラナさん、浜圭介さんのサプライズ参加もありました。

4/24 「加藤 JOE Solo Live」 @メロディライン

バイオリン加藤JOEのソロライブ。メンバーは加藤亜紀子 (Vln.)、美野春樹 (Pf.)、加瀬達 (B.)、伊丹雅博 (Gtr.)、富田正正 (Drs.)。

5/26 「怪蘭 (サイリウ) E-Jazz Live」 @TheGLEE

演歌が歌える Jazz Singer 怪蘭によるジャズスタンダード、歌謡曲、演歌、叙情歌までを歌うライブ。メンバーは設楽泰史 (Gtr.)、直居隆雄 (Gtr.)、納浩一 (B.)。

6/2 「野沢香苗「BRAVE」発売記念&デビュー10周年記念コンサート」 @内幸町ホール

二胡奏者・野沢香苗のデビュー10周年、ニューアルバム「BRAVE」を記念したコンサート。沢山の植物を配置したステージは圧巻でした。メンバーは古垣未来 (Pf.)、渡辺具義 (Gtr.)、池間史規 (B.)、寺嶋民哉 (key)、佐藤由 (Per.)、榊渚 (1st Vln.)、長崎真音 (2nd Vln.)、飯頭 (Viol.)、朝吹元 (V.c.)。

6/24 「作曲家の祭典 2017」 @洗足学園 前田ホール

当会会員の渡辺俊幸、植松伸夫、田中公平、山下康介の4氏が出演。アニメ、ゲーム、特撮作品の為の音楽を自ら指揮し、フルオーケストラで演奏された。

7/19 「服部克久「音楽畑コンサート」 With ボブ佐久間」 @バルトホール

府中に完成したバルトホールのオープン記念したコンサートに当会会長・服部克久と当会会員ボブ佐久間が出演。弦楽アレンジで数々の名曲を披露した。

今後のJCAA主催コンサート

JCAA meets TheGLEE

Musiculture vol.3 響きを編む 音を紡ぐ～JCAAのMUSEたち～

【日時】2017年9月30日(土) 12:30 開場 13:00 開演 【会場】TheGLEE

【料金】6,000円(1ドリンク付)

【出演】作・編曲:芥川マサミ/武永京子/鍋島佳緒里/山本清香 演奏:申愛聖(Vln.)/五十嵐あさか(V.c.)/稲岡千架(Pf.) プロデューサー:徳永洋明

【お申込み・お問合せ】JCAA事務局 TEL:03-6666-6266(10:00～17:00) FAX:03-6666-6267 Mail:info@jcaa1970.com

BIGBAND WITH MICHIRU

【日時】2017年12月26日(火) 18:30 開場 19:00 開演 【会場】内幸町ホール

【料金】7,000円

【出演】ビッグバンド「金城組」/菊池ひみこ(Pf.)/加瀬達(B.)/直居隆雄(Gr.)/ジーン重村(Drs.)/まきみちる(Vo.)/平岩嘉信(Cond.)

スペシャルゲスト:タイムファイブ

【お申込み・お問合せ】JCAA事務局 TEL:03-6666-6266(10:00～17:00) FAX:03-6666-6267 Mail:info@jcaa1970.com

JCAA presents ファミリーコンサート

【日時】2018年1月7日(日) 2回公演 ①11:00 開演 ②15:00 開演(予定) 【会場】府中バルトホール

【料金】大人2,500円 子供(小学生以下)1,000円 親子券3,000円

【出演】神田京子(講談)/稲村なお子(Vo.)/イラナ(馬頭琴)/篠崎正嗣とカレイドスコープアンサンブル

【協力】RMAJ

【お申込み・お問合せ】JCAA事務局 TEL:03-6666-6266(10:00～17:00) FAX:03-6666-6267 Mail:info@jcaa1970.com

震災復興プロジェクト

芸団協の震災復興プロジェクト支援事業にJCAAが協力し、大船渡で演奏をしてきました。



5月27、28日岩手県大船渡に震災復興プロジェクトで行って来ました。萩田光雄氏をはじめ、馬頭琴奏者のイラナさん、私、加藤高志の3人ですがとてもバランス良く楽しく演奏出来ました。計3回のコンサートの1回目の会場は私立の高齢者施設だったのですが、最初は戸惑った気持ちもありましたが、続々集まって来る皆さんの何と嬉しそうなお顔を見ているうちにだんだんと暖かい気持ちになっていくのを感じました。皆さんの人生の1ページに載れた事を幸せに思いました。

次の会場は国際NPO団体が運営する「居場所ハウス」でのコンサート、ここでの模様は地元の新聞にも載りました。特に盛り上がったのはコンサート後の打上。本当に暖かいおもてなしを受け感激いたしました。特に震災と言う人生の大きな

穴を埋めるべく懸命に元に戻す努力をされているのを見て人間の本当の強さを感じました。

翌日は仮設住宅の中にある集会所の閉館記念コンサートが野外で行われました。ここでも住人の方々のびっくりするくらい明るい笑顔とおもてなし、市長さんもいらして楽しいコンサートでした。

以前の生活に戻るよう心から願っております。

文・加藤高志

馬頭琴との共演満喫

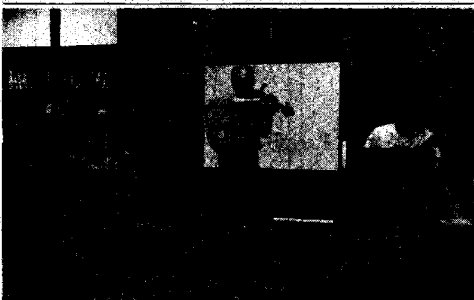
市内3カ所で行った演奏会

大船渡

一般社団法人・日本楽器協会の「馬頭琴とバイオリン、ギターとの共演は久々」による「ラルトコンチェルト」コンサートは27、28の両日、大船渡市内の3カ所で行われた。モンゴルの

イシは、内モンゴル出身のイラナさんからスタート。美しい民族衣装に身を包んだイラナさんは、日本でもなじみ深い馬頭琴演奏にまつわる物語と同名曲「マホの白い馬」、萩田さんのギターと共演して「ダッター」人の踊りなどを奏でた。後半は、加藤さんと萩田さんが「愛の橋」や「家路」「ふるさと」は今もかわらぬなど、ジャンルを超えた楽曲を披露。最後はイラナさんも加わり、会場全体で「ふるさと」を合唱した。

27日は、ハネウエル居場所ハウス(未崎町)と成仁ハウス百年の里(立根町)で開催。居場所ハウスでは30人余り、百年の里では約70人が来場した。居場所ハウスのステージ

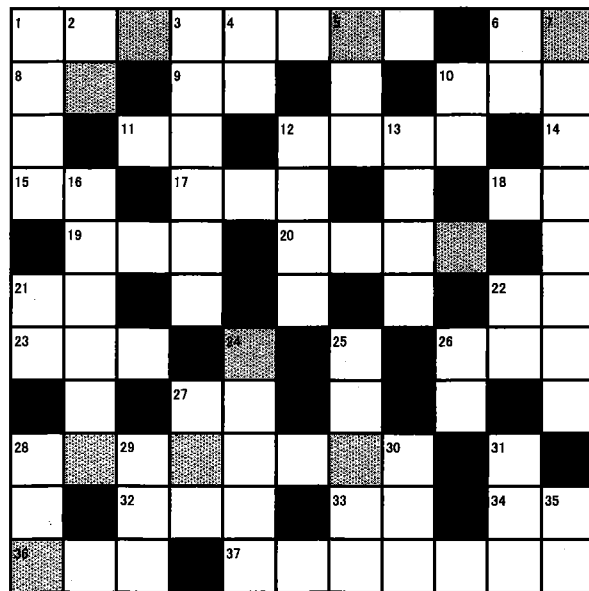


「ラルトコンチェルト」によるコンサート＝居場所ハウス(電子新聞に別写真あり)

クロスワードパズル

by 横山 淳

今は暑い夏。ということで徹底的にすべてのカギを「夏」でこだわってみました。網のかったマスの文字を組み合わせると夏の風物詩がふたつあらわれます。それが最終的な答えです。



クロスワードの正解者の中から、抽選で1名様に10月2日に昭和女子大学人見記念講堂でおこなわれる「服部克久傘寿の音楽会」のペアチケットをプレゼントします。はがき、メール、又はFAXに住所、氏名、クロスワードの答えを記入の上、JCAA事務局までお送りください。締切は9月20日です。当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。クロスワードの答えは9月21日からJCAAのホームページに掲載します。

ヨコのかぎ

- シェイクスピアの喜劇。メンデルスゾーンはじめ多くの作曲家が音楽にしています。頭に「マ」がつかない表記もあるようですが、つけてください。
- 「Even Now」冬に夏のことを思い出す、という歌詞なので冬の歌かもしれませんが。歌手は〇〇・ムスクリです。
- 松田聖子の「夏の扉」の歌い出し。『〇〇を切った私に』
- サッチモ・サマーフェストは〇〇・アームストロングの誕生日の8月4日前後に開かれます。
- 〇〇〇未歩の「蒼い夏」は、2005年にリリースされました。
- 軒下に吊るされて涼を呼ぶ風鈴のなかで、ガラスを使うものを〇〇風鈴といいますが、実はこう呼ばれるようになったのは昭和になってかららしいです。それなら「東京風鈴」ですね。
- シューマンの合唱曲「夏の日に」は、作品65の第6曲です。とごころで彼のファーストネームは？
- 唱歌「われは海の子」の歌い出し『我は海の子 白〇〇の』
- 〇〇〇・ミラーの曲に「Indian Summer」があります。でもこれは実は初冬の頃の暖い日のことなのですね。日本だと「小春日和」かな？
- 〇〇和正の曲。「夏の終わり」
- カンツォーネ「オー・〇〇〇・ミオ」歌詞に「夏」という言葉はないですが、夏のイメージです。〇の部分には2文字にすることが多いのですが、発音的には真ん中に横棒があったほうが、ということで3文字です。
- 「夏は去りゆく」といえば、アメリカ西海岸のこのロックバンド。
- 夏といえばアイスクリーム。「アイスクリームの歌」の歌詞『甘いね』の前に歌われる〇〇x3
- 初夏の仙台の歌「青葉城恋唄」の歌い出し。『広瀬川流れる〇〇辺』
- 宝塚歌劇「南の哀愁」の中の1曲「〇〇〇の歌」『常夏の島 〇〇あゝ来ませよ君』と歌われます。
- 夏といえばボサノヴァ。名曲「イパネマの〇〇〇」
- 『悲しく揺れる町並みを 腐らず歩く夏だった』と歌う東京スカパライズオーケストラの曲。「〇〇たちの夜」
- 1966年布施明のヒット曲。北海道のこの湖がこの気象条件になるのは夏が多いそうです。
- キャロル「夏の終わり」の歌詞。『ああ もう恋などしない 誰にもつげずただ 〇〇〇音だけ』
- その名もサマーというミュージシャンもいますね。ドナ・サマーともうひとり、「ウィッシュ・アイ・ハド・ア・ガール」という曲が88年にヒットしたロック・シンガーヘンリー・〇〇・サマーです。
- 夏の音楽シーンに欠かせないボサノヴァ・シンガー小野〇〇さん
- 夏といえばこの果物。「〇〇〇の名産地」という歌もありますね。
- この曲も夏の定番。1980年リリースの高中正義の代表曲

タテのかぎ

- 日本でのリリースは1996年。ロス・デル・リオの曲「恋の〇〇〇」この年の夏はこの曲とダンスが大流行しました。
- やはり夏といえば海なので何度もこの言葉が出て来ます。唱歌「夏の月」の歌詞『涼しい風にゆらゆらと 〇〇うつ広い稲田の上に』ただこれは稲穂の海ですね。
- 夏といえば怪談「小泉八雲の怪談によるバラード」というピアノ曲をフィンランドのこの作曲家が書きました。
- 北原白秋作詞 平井康三郎作曲「夏の〇〇月」
- ハンガリーの作曲家コダーイ1906年作曲の管弦楽曲「夏の〇〇」
- 細川たかし「応援歌 いきます」の歌詞『〇〇ビールがあるじゃないか』確かに夏はことさら飲みたくなりますね。
- TUBE1994年リリースの曲タイトル。シングル曲では彼らの唯一のミリオンヒットになりました。
- その名も「夏の曲」。吉沢検校がこの楽器のために作曲しました。
- ザ・プロムスは毎年夏にこの都市で開催されるクラシック音楽コンサートシリーズです。
- 「La Isla Bonita」は夏のイメージのマドンナの曲です。とごころで彼女のミドルネームは？
- 『真夏の海は恋の季節なの』と歌われる「真赤な太陽」はこの人の持ち歌でした。
- 「大きな〇〇の樹」というハンガリーの合唱曲があります。〇〇は別名ヘンルーダといい夏に開花します。
- 歌い出しが『燃える夏の太陽が』のサザンオールスターズの曲「雨上がりにもう一度〇〇をして」
- 小椋佳の「忍ぶ草」このシノブを軒先きに吊るす夏の風物詩「〇〇〇〇〇」です。
- 歌詞に『夏の朝』という言葉が出てくる遊佐未森の曲。英文タイトルですがここではカタカナで。1994年リリースの「アルヒハレノヒ」というアルバムの8曲目です。
- 『まばゆい夏の終わる頃僕にだけ彼女はとても優しい目を向けた』と歌うさだまさし1999年リリースの曲「〇〇」
- 夏といえば南の島。〇〇〇大島にも多くのすばらしい島唄があります。
- 「Summer Night」アメリカのジャズ・クラシックピアニスト〇〇〇・ジャレットの曲です。
- 『わらべは見たり 〇〇〇のバラ』と歌われる野ばらの開花時期は初夏です。
- 夏になると耳にするこの（スカッとさわやかな）飲み物のCMソングは多くの有名ミュージシャンが手がけています。
- 『声だって夏の雨みたいにやわらかい』と歌われるのは、〇〇〇・パートンの「ジョリーン」です。
- やっぱり夏といえばTUBEもう一度。1986年リリースの「シーズン・イン・ザ・〇〇」

よもやま エッセイ

戸田信子



私は主に海外での音楽プロダクションの全総括と、オーケストラ収録のために毎年世界を旅しています。常に映画音楽界で先陣を切るハンス・ジマーの率いる音楽制作チームが集結するラボのリモート・コントロール・プロダクションや、スター・ウォーズやハリー・ポッターなどを収録してきたロンドンの老舗のアビー・ロードスタジオ等でお仕事をしていると、映画音楽産業の第一線で活躍するメンバーがよく声をかけてきてくれて面白いお話しを聞かせてくれます。先日 Matt Dunkley (ダークナイトやインセプションの指揮者) が「この業界を辞めることを「Retirement (引退)」とは言わないん

だよ。Expire (満了) させられるというんだ。」という話をしていました。「Expire」の意味は世の中から必要とされなくなり追いつかれることをいい、「自分の意思で退く世界ではなく、世の中から退かされるんだ」という少し苦いお話して、常に才能を開花させ続けなければいけない、というこの業界の第一線で生き残る厳しさをお話してくれました。

私はたまに音楽大学などで行う音楽プロダクションに関するセミナーで「成功例は過去」というお話をします。こうするといよいよというアドバイスでもなく、過去の事例は忘れて前に進めでもなく、今日この話はこれから昇り

来る人達のための土台であり、常に自分の「代表作を更新」していくことがこの業界での現役に繋がっていくのだ、ということを伝えています。

先日、85歳を迎えた巨匠ジョン・ウィリアムズもスター・ウォーズの新作エピソードとインディ・ジョーンズの最新作の作曲にサインをしましたし、その上ツアーコンサートまで始まりますから彼らはまだまだ Expire されるつもりはないようです。私も自分と作品を日々更新しながらこれからも昇りくる者でいたいと思います。

編集長の



ひとりごと

自分には無縁の話で恐縮なのですが、事あるごとに「どうして男の人って浮気するんですかっ」みたいな話題になったりするのですが、面倒なので「哺乳類をはじめ多くの生き物のオスってのは子孫を作ったらもう後はだいたい無用じゃん。でもさ人間の男ってそこから先が異常に長いんよー。」
などと、わかるようなわからんような答え方をしているんですけど。

それはともかく、明治時代に不倫を真面目に研究した学者がいたらしいんです。半生を費やしてそれを研究しまくったらしいのですが、彼はとうとう方程式を見つけたらしいんですよ。
「理想の愛人の年齢」という方程式なんですけどね、ややバカバカしいかもしれませんが…。
で、その学者の長年の研究の結果「男の年齢 ÷ 2 + 7」が理想的だと

いう結論に至ったらしいんです。つまり、男が30歳の場合、理想の愛人の年齢は22歳という事になりますね。男が60歳だと37歳で70歳の場合42歳。もっと極端な例だとたとえば男が20歳だとしたら女性年齢は17歳ですね。
ほう、割とリアルな数値かもしれないなあ、と少し感心もします。

そこで明治の学者に付き合うように、少しだけ掘り下げて考えてみました。

たとえば男が40歳だとして理想的な愛人は27歳なのですが、そのまま付き合ったとして、男が44歳になった時には女性は31歳になっているわけですし、その頃にはもう理想的な年齢差では無くなってますよね。そう思った時に、その明治の学者って本当は「最初はいいだろうが、あんまり長く続けるもんでもないぞ」って事を結論として言いたかったんじゃないか？なーんて。

寺嶋民哉



新入会

ようこそJCAAへ!

たかしまかんだ 兼松衆 佐藤舞希子 篠田元一 平田文一 Deep 寿 岩永知佳

退会

CHAGE 近藤芳樹 小西真理 田頭勉 塚山エリコ

【逝去】

謹んでお悔やみ申し上げます。

蓮実重臣

(敬称略)

JCAAジャーナル vol.36

発行人 服部克久
 広報部 寺嶋民哉 (編集長) 芥川マズミ 萩田光雄 光宗信吉 横山淳
 事務局 萩田恭代 佐立努 三村きい 茂木紀子
 発行所 一般社団法人日本作編曲家協会 (JCAA)
 〒164-0001 東京都中野区中野 2-7-6 3F
 TEL:03-6666-6266 FAX:03-6666-6267 <http://www.jcaa1970.com> info@jcaa1970.com